

# 「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットワーク通信

あなたとご家族の生命を守る知見を備えましょう

向日葵はわが街のシンボル



2024(令和6)年3月15日/第81号

私ども防犯防災部は風早北部地域住民目線で柏市防災行政のチェック役に徹します。  
市長への提言を通じ柏市防災の改革・改善を目指します。

風早北部地域ふるさと協議会

## 災害時に大怪我をしない取組み ～柏市長への要望書の内容についての解説～

前号(第80号)巻末で触れました、12月18日付で太田柏市長に提示した防災関係の要望書～大災害時に大怪我をしないための対策(2項目)～について解説します。

### ① 独居高齢者宅への家具転倒防止に係る作業や物資経費の補助金支給策の導入を求めます

高齢者独居世帯が今後も増加していく中で、家具転倒防止の作業従事に制約のある高齢者世帯では、その必要性を感じるものの、インターネット情報での防止作業ノウハウを自ら学習することにも躊躇されるのが実情です。体力的な面も相俟って自らによる作業が難しく、結果として転倒防止措置が未完了世帯の存在は、震災時の被害拡大の危険性が憂慮されます。有償で作業を他に依頼する際の経費に関わる補助金制度※、あるいは必要な防止装置(機材)の無償配給につきまして、その実現を前向きにご検討願います。

※現状、柏市は福祉行政担当部署主管での身障者向け補助金制度はありますが、高齢世帯を対象とした制度は確立していません。

#### 《本要望を提示した背景》

現在、千葉県内でもいくつかの自治体で、上記の補助金を高齢者宛に支給する制度を設けています。更には、大規模震災を経験した、関西地方や東北地方の一部自治体、あるいは南海トラフ大地震を想定しての対策の一環で、東京都、神奈川県をはじめ静岡県以西でも、高齢者向け補助金制度が確立している自治体は少なくありません。

例えば、昨年の市の防災訓練には自衛隊の皆さんが加勢されましたが、災害本番で彼らが柏市民の手助けになることはほぼありません。千葉県内にはもっと被災し公的救助や支援が必要となる立地環境の地域が数多くあるからです。市の訓練にはこうしたきめの細かさがやや抜けていると批判せざるを得ません。市役職員並びに市民の災害対応における自立のためにも、災害時に怪我をしない、外部支援を最小限に想定しておくことが大切です。

## ② 家具転倒防止措置の実施を啓発する市民向け関連講習会の定期的実施を要望します。

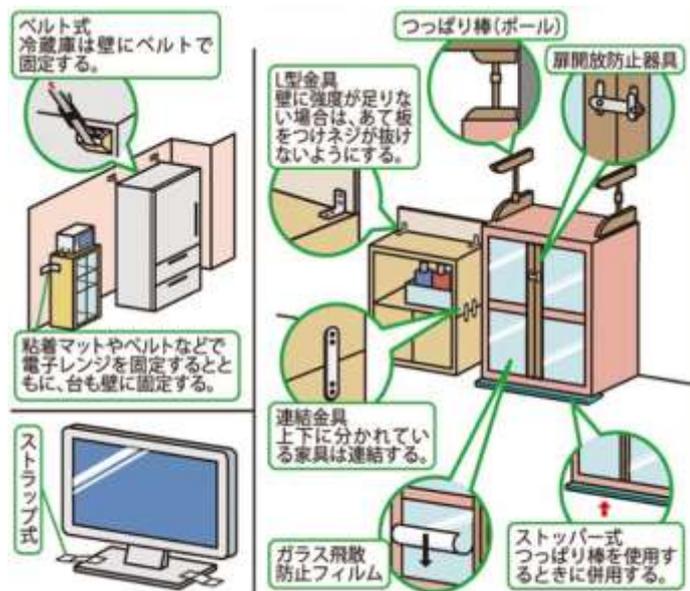
上記の転倒防止作業ノウハウを一般市民や各地域団体の防災担当役員・防災ボランティア従事者が学習することを通じ、大規模災害発生時の犠牲者や怪我人を少しでも減らし、二次災害の拡大を防げるよう、市民に転倒防止策の重要性を一層啓発される目的で、関連の講習会を定期的実施して欲しいと訴えています。高齢受講者には「柏市フレイル予防ポイント」が付与されることも併せて要望します。



### 《本要望を提示した背景》

柏市が上記の内容に沿った講習会を開催される※ことで、災害発生時の対応やその後の行動についても、より多くの市民が学習し、確実に市民防災力が高まること

東京消防庁ホームページ「電子学習室」掲載イラストより。



※家具転倒防止器具は、ホームセンターや量販店などで販売しています。  
※壁にキズをつけずに、取り付けられる器具もあります。

※市が直接講習会を運営するやり方より、転倒防止機材などの販売業界や組合団体に実施を委託することで、当該業界にとってもビジネスチャンスの観点でメリットがあると考えます。

と思います。更に、大きな自然災害発生後には、必ず高齢者を中心に怪我人が現れそれが医療機関の負担、更には周辺の地域住民の避難行動にも大きな影響を及ぼします。地域住民が怪我をしないことで、発災後の諸行動でも負の要素が減り、外部支援も最小限で済むことに繋がります。

こうした大所高所の観点から、柏市には本件を前向きにとらえ、施策実施に向かうことを大いに期待します。

## ③ その他の事項として…マイナンバーカードでの避難所管理が必須です

今回の要望書面には掲げていませんが、市内の指定避難所にマイナンバーカードの読み取り装置を取り付けることで、避難所受付が容易になる、加えて、避難された市民の既往症や処方薬を同時に把握できることでは、避難市民の体調不良や不慮の怪我（治療）へ迅速に対応できることに期待できます。要するに、環境が決して良くないと云われる避難所でも市民が不安を出来るだけ払しょくでき、安心して避難所滞在となることが期待されます。

